大学eラーニング協議会研究・実践報告テンプレート

− 副題 −

協議会 花子\*，協議会 一郎\*\*，協議会 二郎\*\*\*

\* 大学eラーニング協議会 第1部会

\*\* 大学eラーニング協議会 第2部会

\*\*\* 大学eラーニング協議会 第3部会

Word Template for The UeLA

- Subtitle -

Hanako KYOGIKAI \*, Ichiro KYOGIKAI \*\*, JIRO KYOGIKAI \*\*\*

\* First committee, University e-Learning Association

\*\* Second committee, University e-Learning Association

\*\*\* Third committee, University e-Learning Association

あらまし –本稿では，大学eラーニング協議会の研究報告および実践報告の書式について述べる．（400字程度）

キーワード −eラーニング，反転学習，オープンエデュケーション（5つ程度）

# はじめに

本Wordテンプレートは大学eラーニング協議会での研究報告および実践報告用に構成されている．このWordファイルには，それぞれの書式をスタイルとして設定している．

# 論文の構成

原稿の構成は，表題（日本語），著者名・所属（日本語），表題（英語），著者名・所属（英語），あらまし，キーワード，本文，参考文献の順とする．

表題・著者名・所属・あらまし・キーワードは1段組とする．本文・参考文献は2段組とする．

## 表題

### 日本語

18pt，ゴシック体，左寄せ．（副題は12pt）

### 英語

18pt，サンセリフ体，左寄せ．（副題は12pt）

## 著者名・所属

### 日本語

11pt，ゴシック体，左寄せ

### 英語

11pt，サンセリフ体，左寄せ

## あらまし・キーワード

あらまし・キーワードのフォントサイズは9ポイントとし，和文は明朝体，英文はセリフ体とする．ただし，それぞれ最初にゴシック体で「あらまし − 」，「キーワード − 」と記載し，その後あらまし，キーワードを記載する．

キーワードは，発表内容に関連するものを5つ程度まで記載する．

## 本文

本文は，章・節・項，等の見出しをつけて読みやすさに配慮し，段落の最初は1字下げとする．見出し番号は表1のとおりとする．

本文のフォントサイズは10ptとし，和文は明朝体，英文はセリフ体とする．

表1 見出しの体裁

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 体裁 | レベル | サイズ | フォント |
| 1 | 章 | 12pt | ゴシック体 |
| 1.1 | 節 | 10pt | ゴシック体 |
| 1.1.1 | 項 | 10pt | ゴシック体 |
| (1) | 細別項目第1段 | 10pt | 明朝体 |
| (a) | 細別項目第2段 | 10pt | 明朝体 |
| (i) | 細別項目第3段 | 10pt | 明朝体 |

## 参考文献

記述内容に直接関連のある文献は，主文中における該当箇所の肩上の（ ）内に番号を示す．本稿の最後に書籍と雑誌の場合の記載例を示す．

# 用紙サイズ・ページ数

用紙サイズはA4判，上下余白は各25mm，左右余白は20mmとする．また，ページ数は指定が無い限り2ページとする．行数については，余白を変更せず，読みやすさを著しく損なわない限りにおいては，自由に変更できるものとする．

# 図表

図，写真，表は著者がオリジナルに作成したものを使用すること．また，そのまま印刷されるので明瞭になるよう配慮する．全ての図・写真・表は論文全体を通じて通し番号をつけ，それぞれにキャプションをつける．キャプションはゴシック体およびサンセリフ体とする．図・写真のキャプションは下欄に，表のキャプションは上欄に記載する．図・写真の例を図1に示す．



図1 図・写真の例

# その他の注意事項

本文の文体は，“…である”調とし，学術用語は文部科学省の規程があればそれに従うこと．

投稿原稿は，フォントを埋め込んだPDF形式とし，特に指定がなければ以下のメールアドレス宛に送付する．紙媒体による投稿は受け付けない．

uela-editors@googlegroups.com

参考文献

1. 岡本敏雄，松田昇：“知的 CAI における幾何の証明計画の認識と学習機能について”，情報処理学会論文誌，第30巻，第8号，pp.1046-57（1989）
2. 日本情報処理開発センター編：“CAIシステム”，日刊工業新聞社，東京（1972）
3. Rockart, J. F. and Morton, M.S.S.：“Computers and the Learning Process in Higher Education”，McGraw Hill，New York（1975）
4. 大学eラーニング協議会：“大学eラーニング協議会ホームページ”，http://www.uela.org（accessed 2014.11.27）